

苫小牧市立若草小学校

(様式4-2：令和5年度 モビリティ・マネジメント教育（交通環境学習）にかかわる教員支援制度
実施結果報告書)

実施結果報告書

1. 学習名称：地域の自然や文化を知ろう（ウポポイ：4年、ウトナイ湖：3年）					
2. テーマ： 3年：地域の特色と交通の要となる道の駅の役割について理解を深める。 4年：北海道の歴史や文化と合わせ、交通環境の変化や交通の役割を知る。 6年：自動車の整備をとおして、交通産業の理解やキャリア教育を推進する。					
3. 実施教科：3・4・6学年ともに総合的な学習の時間					
4. 関連単元：3年「わたしたちのまちと市」（社会） 4年「地域でうけつがれてきたもの」（社会） 「昔から今へと続くまちづくり」（社会） 6年「自動車の生産にはげむ人々」（5年社会）					
5. 実施単元数：3年 「地域の施設や自然を調べよう」 20時間 4年 「アイヌ文化について学ぼう」 18時間 6年 「自動車整備体験教室」 2時間					
6. 学年	3・4・6年	7. クラス数	5クラス	8. 生徒数	128名
9. 実施内容 【3年】 (1) 市内にあるラムサール条約登録湿地であるウトナイ湖と道の駅「ウトナイ」への見学学習を行い、苫小牧の自然環境保護と交通の要となる道の駅の役割について、理解を深める。 (2) フェリーターミナルを訪れ、実際にフェリー内を見学することで、苫小牧が北海道の玄関口であることや船舶が大輸送を可能にしていることを知る。 【4年】 (1) 隣町（白老町）にあるウポポイ（民族共生象徴空間）への施設見学と伝統芸能鑑賞を行い、北海道の歴史やアイヌ文化について理解を深める。 (2) ウポポイ建設前後のJR白老駅を中心とした交通環境の変化（国道2車線化、駅の特急停車等）や交通の役割について知る。 【6年】本活動に賛同していただいた苫小牧地区自動車整備協同組合苫小牧自動車青年連絡会の協力を得て、総合的な学習の時間を活用して5年社会科で学習した自動車工業と関連付けて、自動車の整備や点検の体験を実施した。					

10. 学習のながれ：

【令和5年度 系統的交通安全学習プログラム】

	教科 ・交通安全の学習内容	◎関連交通安全施設 ○交通安全媒体	その他外部関連
3年	総合的な学習の時間 ・道の駅「ウトナイ」見学 ・フェリーターミナル見学 ・フェリー船内見学	◎道の駅ウトナイ ◎苫小牧西港フェリーターミナル ○太平洋フェリー ○バス	・ウトナイ湖 ・サンクチュアリ ・鳥獣保護センター ・苫小牧港管理組合
4年	総合的な学習の時間 ・JR白老駅見学 ・国道の改修の説明	◎白老駅 ◎国道36号線（改修区間） ○バス	・民族共生象徴空間 ウポポイ
5年	社会 ・自動車生産について学習	○自動車全般	
6年	総合的な学習の時間 ・自動車整備体験	○自動車	・苫小牧自動車青年連絡会

【3・4年生に係る本単元の構造】

1 単元の導入

- (1) 経験想起（過年度学習内容、関連教科）
- (2) 学習活動の把握

2 事前調査

- (1) 目的の共有
- (2) 個人端末や書籍を活用した主体的な事前調査

3 施設等見学 本事業活用

- (1) 事前調査を踏まえた見学、体験

4 事後調査

- (1) 事前調査と施設等の見学したことを整理し、学習を深化

5 まとめ

- (1) 学習のふりかえり
- (2) 児童間のシェアリング
- (3) 外部講師を呼び、さらなる疑問を解決する（3年）

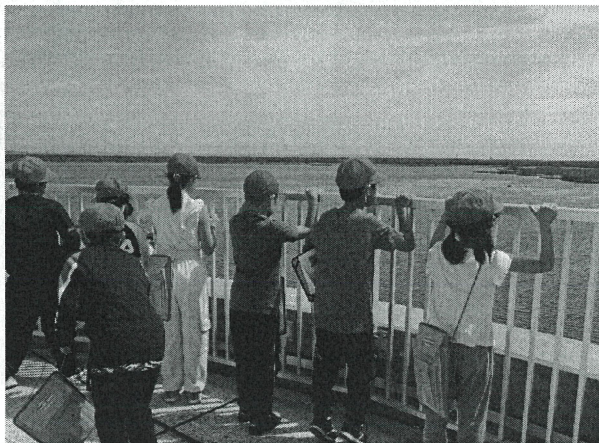
※学習で使用した教材やワークシート、学習風景を撮影したビデオや写真、指導計画書などを添付して提出してください。

別添 令和5年度 苫小牧市立若草小学校

モビリティ・マネジメント教育（交通環境学習）にかかわる教員支援制度活用記録

《3年生 見学学習～道の駅「ウトナイ」・フェリーターミナル》

- 道の駅ウトナイにある展望施設を訪れ、市の観光資源でもあるウトナイ湖を休憩場所としていることを学習しました。



- 港を訪れることで、フェリーが人や物資の大量輸送に役立つことを実感し、苫小牧市が北海道の玄関口となっていることを知りました。



《 4 年生 見学学習～民族共生象徴空間ウポポイ・J R 白老駅》

- 民族共生象徴空間ウポポイを見学することで、北海道の歴史や文化を知るとともに、同じく観光客も歴史や文化を知るために訪れていることを目にすることができました。

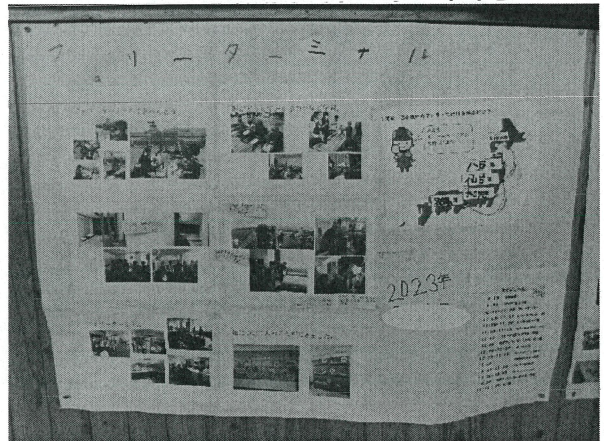
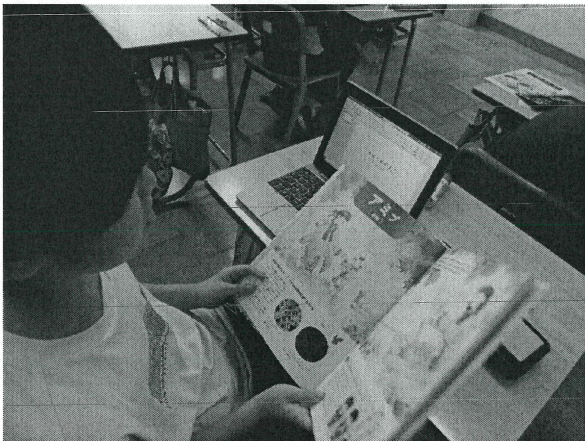


- 民族共生象徴空間ウポポイの訪問後 J R 白老駅を見学し、観光客が利用しやすくなるために交通の整備が必要なことを教員から説明を受けました。



《単元の導入・まとめ》

- 3・4年生ともに学習したことを、今回購入した書籍やタブレット端末を活用して、パワーポイントや模造紙にまとめました。

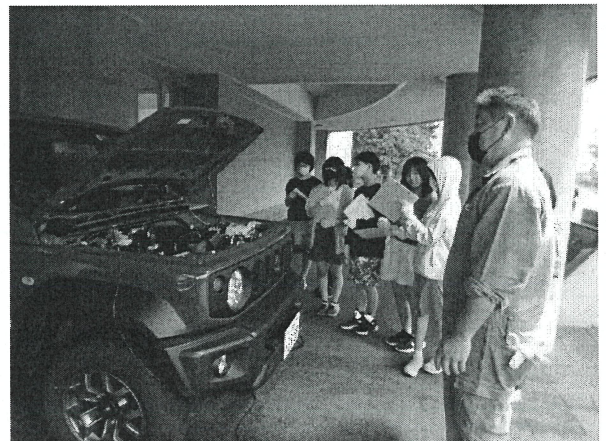


- まとめをすることで、さらに興味をもったことや疑問を解決したり、興味を高めたりするために苫小牧港管理組合やウトナイ湖鳥獣保護センターの協力を得て、さらに深化させるための学習も展開しました。



《その他》

- 本事業と関連させて、苫小牧地区自動車整備協同組合苫小牧自動車青年連絡会の協力により、6年生を対象に自動車整備体験を実施しました。



- 今回購入した書籍の効果で、3・4年生以外の児童も交通に関して興味を深めることができ、交通関連の書籍の活用や貸し出しが増えました。

